

近くにあるのに意外と知らない 清涼飲料自販機のこと

街中やオフィスビル、駅、病院や学校、公園などで見かけない日はない、清涼飲料自販機。ここまで普及しているのは、私たちの生活や社会に大きく貢献し、日々進化を続けているからです。いつでも、どこでも、安心して清涼飲料を買える自販機が、どんな機能を持ち、どのような工程を経て、私たちの生活に欠かせない存在になっているのかを、この一冊を通して紹介します。

数字で知る、学ぶ 自販機



身近な社会インフラ

【飲料自販機数】※2025年末

約**216万台**

コンビニエンスストアは**5.6万店舗**、
薬局は約**6.3万店舗**。
他と比べてもこんなに多い！

出典元：
一般社団法人 日本自動販売システム機械工業会
一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会「コンビニエンスストア統計」(2025.12)
厚生労働省「令和6年度 衛生行政報告例（薬事関係）」

環境にもやさしい

日本のペットボトル
リサイクル率

85.1%

ボトルtoボトル比率

37.7%

出典元：PETボトルリサイクル年次報告書 2025

飲料自販機台数は、日本人の

約**56人**に**1台**

1台あたりの
商品数は **36種類**

毎日1本でも、1カ月以上の選択肢が！

※日本の総人口を1億2286万人（総務省統計局の人口推計<2026年2月概算値>）として計算しています

いつでも、
どこでも美味しく水分補給

1人1日あたりの
清涼飲料消費量

522ml



出典元：一般社団法人 全国清涼飲料連合会

清涼飲料自販機は、身近な生活や 社会にも貢献

清涼飲料自販機は、生活の利便性に大きく寄与しています。さらに、それだけではない重要な役割も担っています。なぜ自販機が社会になくてはならない存在なのか、さまざまな視点からみてみましょう。



【災害時】

災害救済用の機能がついた自販機は、災害・緊急事態などによる停電時には、無料で飲料を取り出すことが可能です。



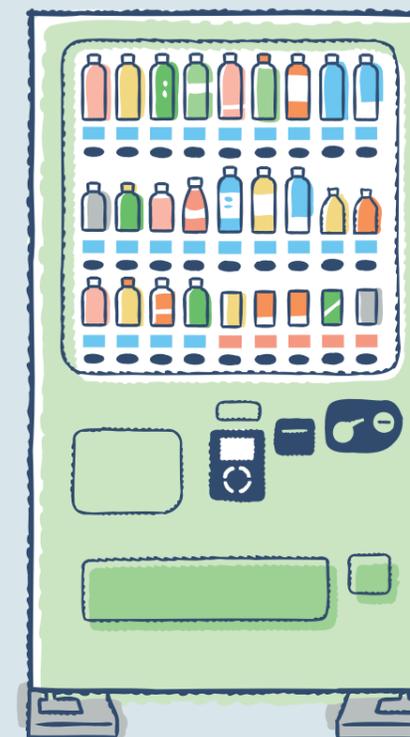
【防犯】

自販機の明かりで周辺が照らされているので、犯罪抑止となり、安心して暮らせる街づくりの一役を果たしています。みまもり機能の一つとして、防犯カメラがついた自販機もあります。



【熱中症対策】

街中や公園、スタジアムなどで清涼飲料を手軽に買えるので、熱中症対策にも役立っています。



【募金・地域貢献】

飲料を1本買うごとに、さまざまな団体や機構に寄付ができる自販機も。誰でも気軽に、社会や地域に貢献できる機会を作っています。



【高齢化】

24時間いつでも1本から飲料が買える自販機が近所があると安心。体に不自由がある方でも使えるユニバーサルデザインの自販機も普及しています。



【インバウンド】

言語がわからなくても、購入しやすい自販機。キャッシュレス決済の対応も拡大し、いつでも、誰でも、飲料が買いやすくなりました。



全国清涼飲料
連合会

〈飲料製造〉

定番商品をはじめ、
年間1,000種類を超える
新製品も！

※2024年



日本自動販売
システム機械工業会

〈自販機製造〉

防犯性の高い安全・安心な
自販機の製造、偽造通貨対策、
省エネ等環境課題対応

→詳しくは6・7ページを
ご覧ください



日本自動販売機
保安整備協会

〈自販機の安全据え付け〉

設置・保守整備、技術品質向上、
施設管理や教育活動

徹底した 転倒防止対策

地震大国という日本の地理的特徴を踏まえ、自動販売機の設置には厳しい安全基準を設けています。耐震構造に関する研究機関などが集まる第三者機関の裏付けや工学的な判断、加振試験の結果を含めた基準に沿ったルールに基づき据え付けが行われるほか、据付検定試験も行っています。



日本自動販売協会

〈リサイクルのための 飲料空容器の回収〉

自販機横リサイクル
ボックスでの
飲料空容器の回収



回収した容器はリサイクル施設で、リサイクルされます。近年はペットボトルのボトルtoボトルも進んでいます。

多くの人の 活動により、 安全・安心 に商品を 提供・循環 し続ける 清涼飲料 自販機



日本自動販売協会

〈飲料の販売〉



日本自動販売協会

〈オペレーション業務〉

商品補充・品質管理、
自販機の適正管理・安全推進、
人材育成



自販機を支える、 ルートセールスの日々の仕事

お客さまの訪問・商品ラインナップの最適化

自販機への商品の補充・品質管理

自販機の保守・点検

売上金回収・釣銭補充

自販機内外の衛生管理・清潔保持
(空容器回収・自販機清掃)



自販機横 リサイクルボックスとは？

自販機で販売した清涼飲料の空容器(ペットボトル、缶、びん)を回収するために設置、散乱防止に役立っています。写真は新機能のリサイクルボックス。異物を入れづらくした下向きの投入口や、物を置きにくくした傾斜をつけた上蓋形状で、「散乱ゴミ防止」「異物の減少」に取り組んでいます。





もっと知りたい！ 清涼飲料自販機の 機能と環境負荷対応

日本でここまで清涼飲料自販機が普及したのには、
技術の進歩も大きく関係しています

冷却・加温機能の技術進化にとどまらず、環境への負荷にも配慮した
省エネ設計が進む自販機。
だからこそ、日本ではこれだけ自販機が普及して、
日常の便利を支えています。

ホット&コールド自販機の仕組み

1. 真空断熱材

熱や冷気を逃さずに、
エネルギーロスを最小限に

2. ヒートポンプ機能

冷やす際に生じた機内の
熱を加温に効率よく再利用

3. 照明センサー LEDライト

周囲の明るさを感知し、
照明を自動コントロール

4. 学習省エネ機能

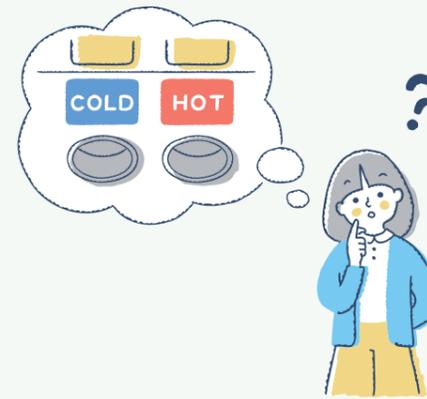
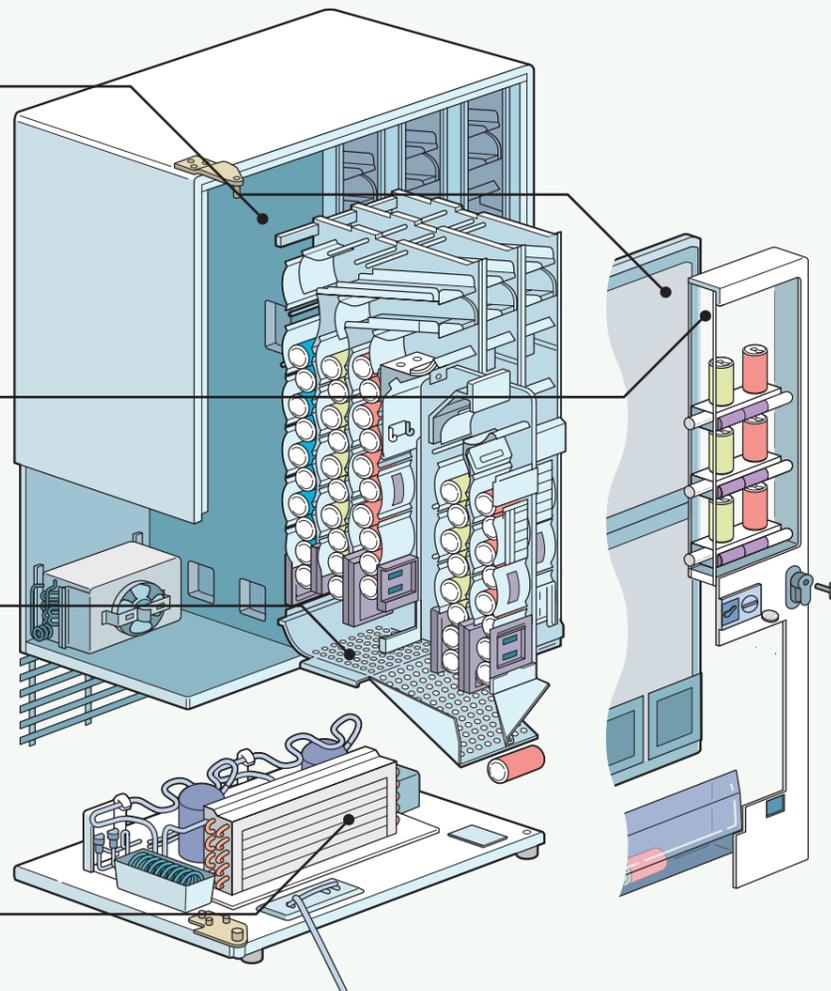
冷却・加温を必要な
分だけ行い、電気を節約

5. エコベンダー機能

冷却は、電力需要が
少ない時間帯に

6. 冷却・加温装置

グリーン冷媒を使って
環境に優しく、安定した
性能を保持



1. 真空断熱材

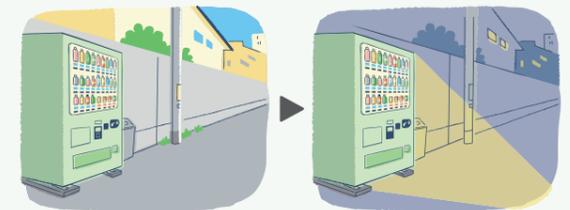
熱を伝えにくい構造を持つ高性能な真空断熱材(グラスウールなどを真空パックし金属フィルムで覆ったもの)を使用し、商品を効率よく冷却・加温。消費電力は家庭用の冷蔵庫とあまり変わりません。

2. ヒートポンプ機能

商品を冷やす際に発生した熱を、自販機の外に逃さず、ホットの商品を温めるために再利用。エネルギーを無駄なく使うことで、環境負荷を減らすことができます。

3. 照明センサーLEDライト

周囲の明るさを感知するセンサーを使い、昼間は消灯し、夜は点灯、と照明を自動コントロール。現在はほとんどの自販機が、蛍光灯と比べて消費電力が少ないLED照明を採用しています。



4. 学習省エネ機能

自販機の司令室のような役割を担う「マイコン」。マイコンが売れ行きを判断し、もうすぐ売れていく商品だけを冷却・加温する学習省エネ機能を採用することで、消費エネルギーを削減しています。



5. エコベンダー機能

電力需要が高まる時間帯の前に商品を冷やし、電気が一番使われる時間帯には冷却をストップ。このエコベンダー機能があることで、電力需要の集中を抑えます。

6. グリーン冷媒採用

現在出荷されている自販機にはHFO(ハイドロフルオロフィン)という、環境にやさしいグリーン冷媒を採用。地球温暖化防止に向けて、清涼飲料自販機業界ではグリーン冷媒への移行に取り組んでいます。

知っていますか？

自動販売機の日

3月21日



2024年に3月21日が「自動販売機の日」と記念日登録されました。日本最古とされる木製煙草自動販売機を1888年に発明・制作した俵谷高七たわらや たかしち氏の誕生日（1854年3月21日）が由来になっています。



私たちが、清涼飲料自販機を支えています

 一般社団法人
全国清涼飲料連合会

<https://www.j-sda.or.jp>



 一般社団法人
日本自動販売システム
機械工業会

<https://jvma.or.jp>



 日本自動販売機
保安整備協会

<https://www.jihokyo.com>



 一般社団法人
日本自動販売協会

<https://www.jama-vm.com>



発行元・問い合わせ先 / 清涼飲料自販機協議会 office@jsvmc.jp

